



新春交流会

2026年新春交流会は、3月8日、4か国4大学の先生とIメイト学生、および日本各地の会員とJICA市ヶ谷会場に参加した会員、留学生、鷗友学園中等部の皆さんをオンラインで結んで行った。今回は、交流校の先生たちの「プレゼンに対するフィードバックや双方向コミュニケーションを」という声を受け、正会員の大石純さん、賛助会員のホアン・アインさんと一緒に企画を進めました。

当日は9グループが制作した動画やZoomに対し、投票やチャット、応援メッセージも多数寄せられ、賞状と共に各グループへ送り、さらに会場の皆さんの想いを「おどるボンポコリン」「上を向いて歩こう」の歌に乗せ、各国へ届けました。その後、会場では「美味しい」と大好評のアジア各国料理のbuffetランチを頂き、賛助会員や留学生、中等部の皆さんが感想を発表するなど、和やかな雰囲気の中、終了しました。(理事 三木 京子)

1. 貿易大学／ビタミン **【春の草花】 タン・タム、ゴック・ピック、ギア・ハン**
音楽賞
アオザイを纏いテトの文化を届ける「架け橋」となったこのステージで、愛する曲を披露できたことを心から誇りに思い、私たちの胸は自国への愛と誇りで満たされました。文化が国境を越えた喜びを実感し、この達成感を胸に、これからもその魅力を発信し続けたいです。
2. 貿易大学／Pianonx **【心の春】 グエン・ハ・チャン**
音楽賞
この「テトはもう大丈夫」の曲は毎年旧正月の時期によく流れ、ベトナムにはさまざまなテトの伝統的行事があり、家族が集まる大切な時間です。お金や贈物より家族全員が元気で楽しく過ごす方が大切と、家族の愛のメッセージを伝えたい。皆さんの応援に感動しました。
3. 清華大学
／うたをうたう **【花の海】 関唯佳**
映像賞
光栄にも、私は周杰倫さんの歌『花海』を皆様に披露し、緊張もありましたが温かく見守ってくださったので、最後まで歌えました。会場の和やかな雰囲気、普段は交流できない方々とも話す機会は貴重な経験で、感謝しています。この経験を活かし一層精進します。
4. タマサート大学
／六味 **【タイの伝統的な遊び】 タラローム、スロンシーブ、ニャームピタックシン、パムシット、セエンアルン、ウィセツブーン**
企画賞
初めての国際交流会での発表は想像以上に大変でした。新しい世界を知り学ぶため、一緒にアイデアを考え、問題があれば皆で協力するのは最も大事だと思い、とても尊い経験でした。日本語を実際に使い、また色んな国の芸術や遊びは面白く、他の国の文化をもっと知りたいと思っています！
5. パジャジャラン大学
／ヌファナ **【インドネシア伝統的な音楽を知る：スンダポップ】 フヒユニ、アイニ、マレーラ**
パフォーマンス賞
皆さんの体験や外国のことについて動画を見ることができて、とても面白くて楽しかったです。皆さんにスンダポップを広げられたことは大切な体験でした。私たちの動画にいいコメントを頂き、とても嬉しかったです。パフォーマンス賞をありがとうございました。
6. 清華大学
／清華日本語部 **【日本語専攻の学生の冬休み】 張子月、趙心怡**
企画賞
寒假の間、日本語専攻の学生として、二人で冬休みに実践した勉強方法を紹介しました。私たちの日本語の成果が認められ、普段の生活についても知ってもらえ、楽しかった。交流会を通して同じ言語学習者の状況を知り、とても有意義で、もっと交流したいです。
7. 貿易大学
／ルオン・テイ・セン **【ひとり上手】 ルオン・テイ・セン**
音楽賞
交流会では「一人上手」を選び、心を込めて歌いました。撮影では表情や発音に気をつけて何度も撮り直し、貴重な経験でした。日本の皆様とつながり、とても嬉しく、日本語や表現力に少し自信が持てるようになりました。今後も交流を大切に、成長していきたい。
8. 貿易大学／雪一族 **【ピリミリオンでは買えないもの】 トウヰツ・ゴック、グエン・ク・アイン、ヴ・ク・アイン、フォン・タオ**
企画賞
一緒にいる時間が少なく、チームワークを保つのは大変で、締切りを守ることや時間調整がうまくできなかった。その分倍の努力をした結果がこの作品で、かけがえのない思い出となりました。(グエン) 私の予想を遥かに超えた出来に、恵まれた才能は好きなことに真剣にとりくみ工夫や努力を重ねて特技になったと実感。アジ風とメンバーに心から感謝です。(ゴック)
9. 清華大学大学院
／架け橋 2024年組 **【私たちの日本で過ごす日々】 白一蘭、宋悦、陳若暉、張雨橋**
映像賞
どのビデオも音楽がよく、元気で面白かった。5か国の文化も勉強でき、「上を向いて歩こう」を初めて聞き、とてもよかった。お昼ご飯もおいしく、いろいろな人と久しぶりに会って話せた。Iメイトの山田稔さんにも会え、楽しく忘れられない交流会でした。(白)



パジャジャラン大学交流会 (2025年12月21日)

Zoomによるオンライン形式で日本人会員16名にサムスル先生とIメイト学生18名の総勢35名で開催されました。全体セッションでは、①日本と交流校のコーディネーターの自己紹介②学生や会員へのオンラインアンケートの結果報告(事務局三木理事)③大学の日本語の授業の概要紹介(アリシャさんとヌルさん担当)と質疑応答があり、その後5グループに分かれ、自己紹介と自由なおしゃべりをしてもらい、最後に事務局より今後のアジ風イベントのお知らせを伝えました。(コーディネータ 鈴木 一美)

日本語の会話ができて嬉しい

初めてのアジ風の交流会に参加しました。緊張で、言葉が上手く伝わるか心配でしたが、日本の会員さんと他の学生さんは本当に優しく、楽しい会話ができました。日本語を勉強するきっかけや日本に行ったらどのようなことをやってみたいなどのことを話しました。普段日本語を話す機会があまりなかったため、この機会に日本語での会話ができるのは嬉しかったです。今後の交流会も楽しみにしています。



(パジャジャラン大学3年生 ハシヤ ラシーヴァ ハデイ
Iメイトは金浜 秀一さん)

タマサート大学交流会 (2月1日)

2025年秋にマッチング成立したペア(12組)を対象に、オンラインでの初顔合交流会を実施しました。学生、会員、事務局計20名の参加がありました。当日は、シリワン先生によるご挨拶、富平さんから交流コーディネータを引き継いだ私の自己紹介に続いて、三木さんによる「オンラインアンケート」と「25年秋タマサート大学訪問レポート」でアイスブレイク。その後、4つのグループに分かれて、自由なおしゃべりをしました。昨年秋に交流を開始したペアにとっては、今回初めてお互いの顔を見ながら話すことができ、親近感が湧いて、今後のIメイト交流がやり易くなりそうと感じられたようです。小人数でのグループ構成だったので、初顔合わせのペアでも話しやすかったのではないかと思います。これをきっかけに今後の交流が楽しく深まっていくことを期待しています。(コーディネータ 千歩 和人)

貿易大学交流会 (1月25日)

1月25日に貿易大学オンライン交流会が開催され45名が参加した。学生から貿易大学日本語学科の授業紹介発表、事務局から学生集会報告、最後に少人数グループでの和やかな交流のもと新年の幸先の良い会となった。

(コーディネータ 小林 玲子)

日本語会話の良い練習

交流会でとても楽しい時間を過ごしました。

最初のQ&Aでは、質問に答え合いながら互いを知ることができ、とても興味深く感じました。また、そのときにZoomのポーリング機能を初めて知り、便利だと思いました。その後、日本語学科の授業紹介の時間があり、私も「ビジネス読解」と「ビジネス会話」の二つの授業を紹介しました。うまく伝えられたか少し不安ですが、皆さんに興味を持っていただけたらうれしいです。



最後は少人数のグループに分かれて会話をしました。最初は少し緊張しましたが、次第にリラックスして楽しく話すことができました。多くの方と交流することができ、日本語会話の良い練習にもなり、有意義な時間でした。また機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

(貿易大学生4年生 グエン・ミン・ジャン
Iメイトは浅山 久美子さん)

普段はできない貴重な経験

今回の交流では、日本の方と直接お話することができて、とても嬉しかったです。趣味について話すことができ、楽しい時間を過ごしました。大人数と一緒に話せたので、緊張せず、リラックスして参加することができ、また、年齢が離れていても、私の趣味に興味を持って理解しようとしてくださったことがとても嬉しく、温かい気持ちになりました。また機会があれば、ぜひもう一度お話ししたいです。ありがとうございました。



(タマサート大学3年生 パチャラポン・ナンロンシー
Iメイトは兼平 真澄さん)

新入会員交歓会 (2月7日)

2月7日、「新入会員交歓会～もっとアジ風を知ろう～」をオンラインで開催しました。会員同士の交換も含めて、アジ風の意義や面白さを知ってもらいたいという意図があります。2人一組のインタビューから他己紹介で和やかな雰囲気になった後、活動の写真を見ながら先輩会員の話を聞いたり、グループで意見交換をおこないました。

(理事 奥山 寿子)



あせらずに 待つ事

この会で活躍している横山茂明会員が私の学生時代の友人で、彼から誘われて昨年入会しました。Iメイトとの交流が始まったのは秋でした。タイの女子学生とインドネシアの男子学生、いずれも日本への留学を希望している学生とやりとりを始めました。タイの学生はメールでのやり取りのみを希望し、インドネシアの学生はビデオ電話で会話も練習したいという希望でした。最初はすぐに返信が来ていたのですが、どちらの学生もしばらくすると全く返信がなくなりました。



先日の交流会に参加した第一の目的は、他の会員の交流の様子を聞き、このような現状に関して相談することでした。聞いてみればよくあることなので、しばらく様子を見たらいいということなので気が楽になりました。(正会員 則定 隆男)

新入会員交歓会に参加して

先日、Zoomで開催された新入会員に参加させていただきました。

コンセプトは「もっとアジ風を知ろう」ということで先輩会員の方からたくさんのお話を伺うことができました。普段はIメイトの学生さんたちとの交流会が中心でしたので、日本人会員同士の交流はとても新鮮でした。



いろいろお聞きした中で印象的だったのはご退職されてから中国に語学留学をされてボランティア活動などを通してアジアの若い世代の人たちと交流することで世界が広がったなどというお話でした。先輩会員の方々はアジ風でも先輩であり、人生の先輩でもありますのでダブル(それ以上)の学びがあり、とても貴重な時間でした。企画していただきありがとうございました。(正会員 中山 真理子)

パジャジャラン大学おしゃべりの場

新規マッチングしたIメイトと一緒に、今年度初めての「おしゃべりの場」が2月21日に開催されました。学生の参加者は10名、日本人会員が17名で、5グループに分かれ、各組とも自己紹介から日本の好きな食べ物やアニメの話、それぞれの趣味の披露と楽しいおしゃべりをたっぷり1時間満喫しました。昨年秋からIメイト交流を始めた島村美智さんのIメイトのダツファさんも日本人とのおしゃべりを存分に楽しみました。
(理事 古海 正子)

この機会をいただき、感謝します



小さい頃から日本の音楽が大好きで、日本語を身に付けたいと思っていました。日本語は難しいですね。会話もなかなか話せません。それでもアジ風のおかげで、自分のIメイトと一緒に会話の練習ができました。誰かと会話の練習をするのは初めてで、大変でしたが、Iメイトのミチさんは

とても優しいです。

おしゃべりの場では、助けてもらいながら、他の日本人の方と話し、お互い好きなことを紹介したりしました。文の間違いを教えてください、新しいことも学びました。今後も、このプログラムが続くことを願っています。チャンスがあれば、アジ風の皆様に会いたいです。(パジャジャラン大学2年生 ムハンマド
ダツファ Iメイトは島村 美智さん)

第一回街歩きを開催しました

アジ風の「街歩き同好会」発足に伴い、その第一回を去る1月17日に開催致しました。当日は素晴らしい陽気のもと、留学生、OBOG、アジ風会員を含む総勢24人が東京駅に集合。私の案内で、日本を代表するビジネス街である丸の内界隈の歴史的建造物、皇居東御苑で江戸城の名残、そして神楽坂では江戸時代の雰囲気やフランスの香り漂



〈神楽坂の裏道にて〉

う裏道の散策を楽しんで頂きました。皆さん、和気藹々と話も弾み、友好を深めておられるようでした。

今後とも、魅力ある街を散策するプランをご紹介していく所存ですので、お気軽にご参加下さい。

(街歩き会幹事 正会員 横山 茂明)

東京駅からスタートしました

東京駅は高いビルに囲まれています。駅自体は赤レンガ



できていて歴史を感じとても良かったです。次に行った皇居は、私は三度目ですが横山さんの説明で江戸時代の歴史について学びました。皇居の中はとても広く、景色がきれいで気持ち良かったです。赤城神社と合格を祈る蛸雪神社に行きお願い事をしました。その後神楽坂で昼ごはんを食べ、最後に善国寺に行きおみくじを引いたら「大吉」が出ました！とても嬉しかったです。

今回のイベントはみんなと歩きながら、いろいろ話せて、新しい友達もでき、とても良かったです。機会があったら又ぜひ参加したいです。

(清華大学大学院 東京科学大学留学生 白 一蘭
Iメイトは山田 稔さん)

東京の真ん中で日本の歴史を感じる街歩き

冬の寒い日と思いきや、晴天の暖かいお天気に恵まれて、気持ちの

良い街歩きでした。東京の真ん中を巡る街歩きで、東京駅のどっしりした外観、丸の内界隈の近代的な竹見を見て、大手門をくぐり、松の伝統的な美しさに魅せられ、東御苑では日本の歴史を感じ、昔の江戸城のゆったりした広い敷地を歩くと日々の喧騒を忘れることができました。



その後の神楽坂は、由来は「神楽＝花街」の坂と教わり、脇道のフランス風な道とレストラン、日本料亭の値段の高さに驚き、別世界のようなものでした。留学生に日本の神社と寺の違いを説明する中で、お寺と日本人の精神的側面を表す神社の両方の良いところも受け入れるのが日本的なことと思いました。「アジアの新しい風」の旗の下、集まった皆さんの元気を頂いて帰りました。

(正会員 足立 純子)

【お詫びと訂正】 90号1ページのタマサート大学訪問ツアー参加人数は17名ではなく12名、4ページの貿易大学卒業式の日付は12月16日ではなく9月14日の誤りでした。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

会員紹介

今井 進さん

今井進さんは1948年に神戸で生まれ、小学校、中学校、高等学校、大学と全て神戸で過ごした生粋の神戸っ子です。大学時代は人気のテニス部に入り、毎日真っ黒になる迄白球を追いかけていました。

アサヒビールに入社されて以来主に大阪で労働、教育関係の職場に就かれ、その後東京では8年間システム関係の仕事に携わりましたが、神戸市外国語大学英米学科で培った英語力を発揮する場には恵まれなかったそうです。

アジ風入会の切掛けはラジオ深夜便で上高子さんのお話を聞いたことで、素晴らしい活動だと感銘を受けて、早速入会の手続きを取られました。アジ風の活動は専ら関西が中心で、2012年の春初めての交流会で奈良公園に行き、ベトナム、タイ、中国の学生達と日本語で語りあえたことがその後のアジ風活動に踏み込む大きな動機になったのだそうです。

その後もそれぞれの大学のIメイト達との交流が続きましたが、一番多いのがハノイ貿易大学の学生でした。最初のIメイト

も2番目のIメイトもやはり貿易大学生で今尚お付き合いが続いています。2013年に初めての交流校訪問で貿易大学へ行きました。特に女子の優秀さに感慨深いものがあったそうです。



アジ風に入ったのが動機の一つで中国語の勉強を始められました。先生は神戸大学大学院に留学中の中国人の方で、結婚前ご主人は大阪大学大学院博士課程に留学中でした。先生にはアジ風に入会していただき、交流会の司会などを何度もお願いしました。その後お二人の本国での結婚式に招かれて参加されました。現在はご主人がアメリカの研究機関から声が掛かり、同地で新しい生活を始められているそうです。

これからもあらゆる手段を講じて、沢山の交流を広げて行きたいと、ますますアジ風の活動に積極的に取り組む意向をお示し下さいました。

インタビュアー：園田 成和



アンケートの結果報告とお願い

- 1) **アジ風新聞の役割**：『アジアの新しい風』の理念を元に、主としてその活動が活き活きと行われている様子を会員の皆さまに届け、楽しんで頂けると同時にこの活動に参加したい仲間を増やして行く為のツールとしての役割が有ります。その役割を果たして行く為、皆様の新聞利用状況の把握及び新聞に対するご意見を頂き、今後の新聞作りに役立てようと、お忙しい中アンケートへの回答をお願い致しました。
- 2) **アンケート結果**：89号は会員の皆さんへ、90号は学生及び会員の皆さんそれぞれ約200名の方に、容易に回答して頂ける様出来るだけ簡単な質問をGoogle formでお送りしました。89号は13名の回答、90号は学生16名と会員22名の回答が有りました。いずれも**10%程度**の回答です。大学訪問交流及び元会員への追悼文など、**深く心温まる交流記事**への関心が強いようです。
- 3) **お願い**：今後もアンケートを実施しますが、回答がどしどし寄せられて来ることを楽しみにしています。(編集部)

視野の広がる 留学生活

私はタイからの留学生で、25年の9月から26年の8月まで一橋大学で勉強しています。日本での生活も一人暮らしも初めてなので、最初は不安を感じていました。不安を感じながらも、ずっと憧れていた日本で生活できるのが嬉しかったです。しかし日本語を話せても実際に生活してみると、自分の日本語能力はまだ足りないと思



い、何度も落ち込んでいました。

それでも日本で好きなアーティストのコンサートに行ったり、有名な観光地に行ったりすることができて、やはり日本のことが好きです。このような素敵な機会をいただき、日本人や多国籍の留学生の友達とも出会いました。残りの留学生活も大切に過ごしていきたいです。

(タマサート大学 オッドソン・チョルニパー

Iメイトは坂野 仁美さん)

大好きになった名古屋の街

はじめまして。ベトナムの貿易大学から名古屋市立大学へ交換留学し、先日帰国したチャーです。今日は、その留学生生活を振り返り、私が大好きになった名古屋についてお話しします。

実は、留学先を探し始める前は、名古屋という街のことを知りませんでした。しかし今は、心から「名古屋が大好き!」と言えます。名古屋は、私にとって新しい経験が始まった場所です。初めて外国で学び、生活し、一人で暮らすことにも挑戦しました。一人旅をしたり、自分で生活を支える中で、日本語の力だけでな

く、人としても大きく成長できたと感じています。落ち着いた雰囲気とほどよい活気がある名古屋の街はとても居心地がよく、毎日が大切な思い出になりました。

皆さん、機会があれば、ぜひ名古屋を訪れてみてくださいね。

(ハノイ貿易大学3年生

グエン・フオン・チャー Iメイトは小関 高志さん)



追悼 去る1月28日、正会員の森郁子さんが78歳でご逝去されました

豊かな知識をもって新聞編集に携われ、多くのIメイトたちから慕われ続けられた森さんは、Iメイト交流の道しるべです。滋味深い最後の寄稿(『別冊』21号)と信頼に満ちたIメイトからの追悼文を紹介し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

老人の道

各国の老人問題はそれぞれがおかれた経済その他の状況や、これまでの伝統、文化、老若のとらえ方など複雑に絡み合い、難しさを更に複雑にしているようだ。リボンさんの文を読んでいると、タイ人の優しさの土壌を感じ、また日本も当然のこのように老人を敬いお世話をしてきた歴史があったことに思い至る。意見を交わしあい、支える側、支えてきた側が互いに想いあい生きていける社会の迅速な構築が望まれる。



(森 郁子)

私の綺麗な天使

私たちのご縁は、2010年、タイと日本の間のコーディネーターとして関わったことがきっかけでした。私たちはアジ風の活動でタイと日本で会いました。その後も長くメールで交流を続けました。2019年にタイへ帰国し、大学教員として働き始めてからも、森さんは変わらず私を支えてくださいました。

森さんは、私にとってまるで天使のような存在です。出会ってからの15年間、人生のあらゆる節目で支え続けてくださり、決して疲れることなく、苦しい時も楽しい時も共に歩んでくださいました。2026年1月末、私はもう森さんにお会いすることができなくなりました。けれども、これからの私の仕事や人生の一步一步を、森さんはきっと空の上から優しく見守り、微笑みながら応援してくださっていると信じています。

(元Iメイト学生 ニムサクン・スットブラータナー <リボン>)

今後の行事予定

<http://www.npo-asia.org>
new-wind2006@npo-asia.org

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 5月9日 | 春のIメイト交流会
九段教会(集会室にて) |
| 5月16日 | 第1回アジ風歌おう会
JOYSOUND 渋谷南口駅前店 |
| 6月5日 | タイ、タークローン市訪問
団との交流会
九段教会(集会室にて) |

・・・編集後記・・・

2026年はスノーボードと「りくりゅう」のオリンピックで始まり、WBCではベネズエラが優勝し、日本はベスト8。6月にはサッカーのワールドカップが米・カナダ・メキシコの3か国で開催予定と、大規模な世界大会が続く。

ロシアの参加をめぐる、オリンピック委員会(IOC)は国としての参加は認めず、一部の中立と認定された選手のみ、一方パラリンピック委員会(IPC)はロシアとベラルーシにも参加を認めた。大統領が拘束され米国に連行されたベネズエラの選手は全力で米国チームに対抗し、選手と観客が一体となって喜びと涙に溢れた優勝となった。世界最大のスポーツイベントのワールドカップでは、米国はイラン選手の入国を拒むかもと言われている。

何が起きるか分からないが、いったん始まると世界中で熱狂の渦が広がるだろう。一方で奥歯に何か挟まったままの人も多くなるだろう。(浅山 久美子)